



兵庫労働局発表
平成28年7月28日(木)

担当者

職業安定部職業安定課長 足立 靖行
雇用情報官 鮫島 成人
電話 078-367-0792

ハローワークによる企業ヒアリング結果（平成28年7月）

製造業を中心に今後3ヶ月後の業況の見通しは
「**良い方向に向かう**」と回答した企業が増加

兵庫労働局は、兵庫県内の景気や事業活動による雇用への影響等を的確に把握するため、平成20年7月から四半期毎にハローワークによる管内の中小企業を対象としたヒアリング調査を実施しています。

今回、平成28年度第2回目の調査を実施しました。（第1回目 4月）

【ヒアリング実施概要】

①実施期間

平成28年7月1日～平成28年7月12日

②対象企業

各公共職業安定所が中小企業(299人以下)10社(製造業、卸売・小売業、運輸業)を選定(原則、平成20年7月の調査開始時に選定した企業を継続して定点観測)

調査対象企業数140社、調査回答数140社(回答率100%)
(製造業85社、卸売・小売業26社、運輸業29社)

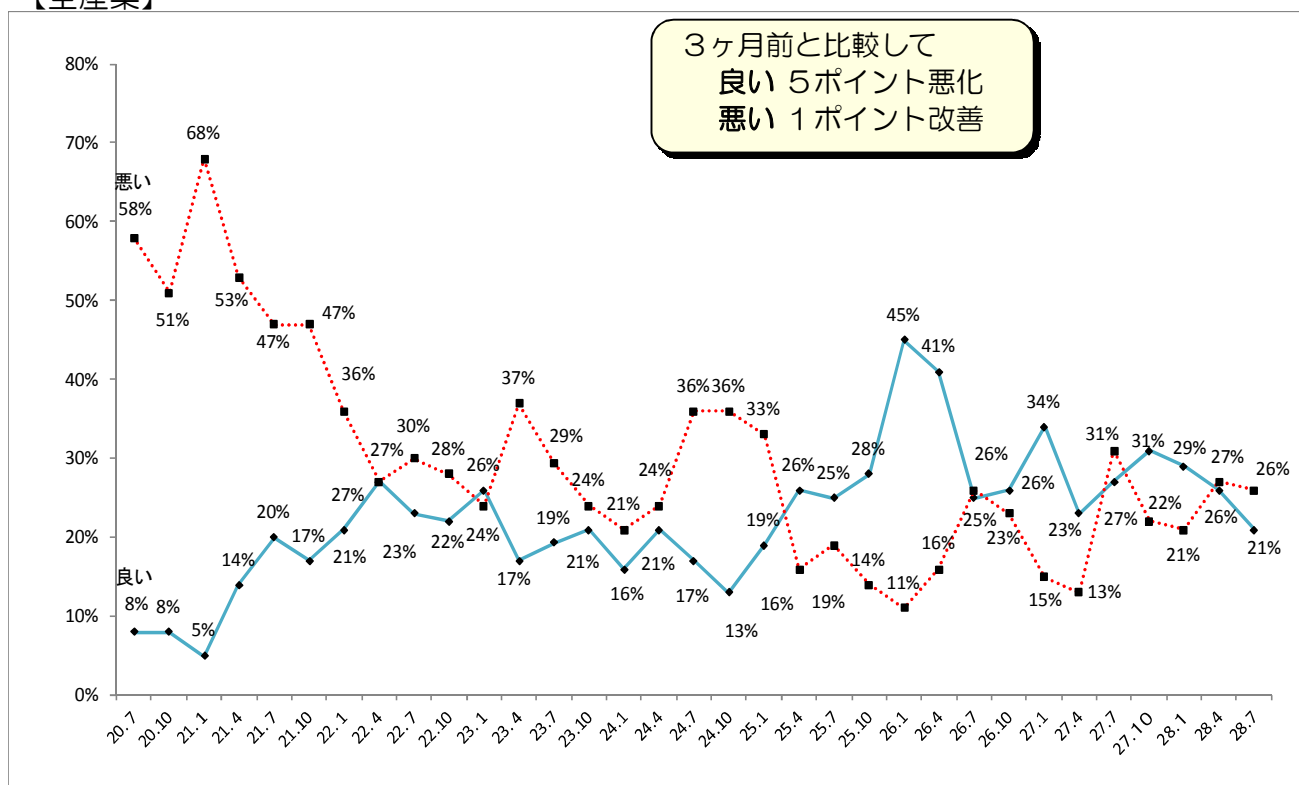
【調査結果のポイント】

- ・3ヶ月前と比較した現在の業況は「卸・小売業」、「運輸業」で悪化、「製造業」でやや改善。
- ・今後3ヶ月後の業況の見通しは「良い方向に向かう」と回答した企業が9ポイント増加。（「製造業」は12ポイント増加）
- ・今後の雇用調整を示唆する企業が0%。（前回1%）

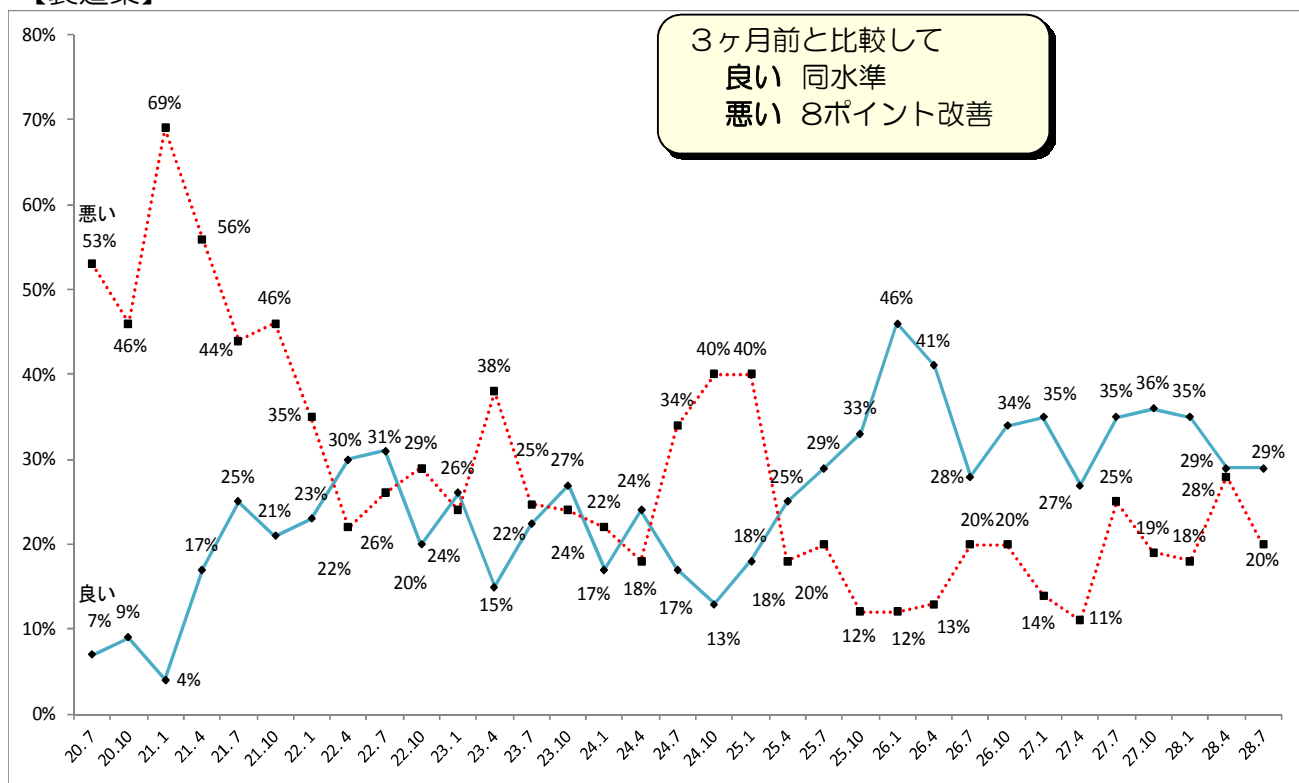
I 現在の業況

3ヶ月前と比較した現在

【全産業】

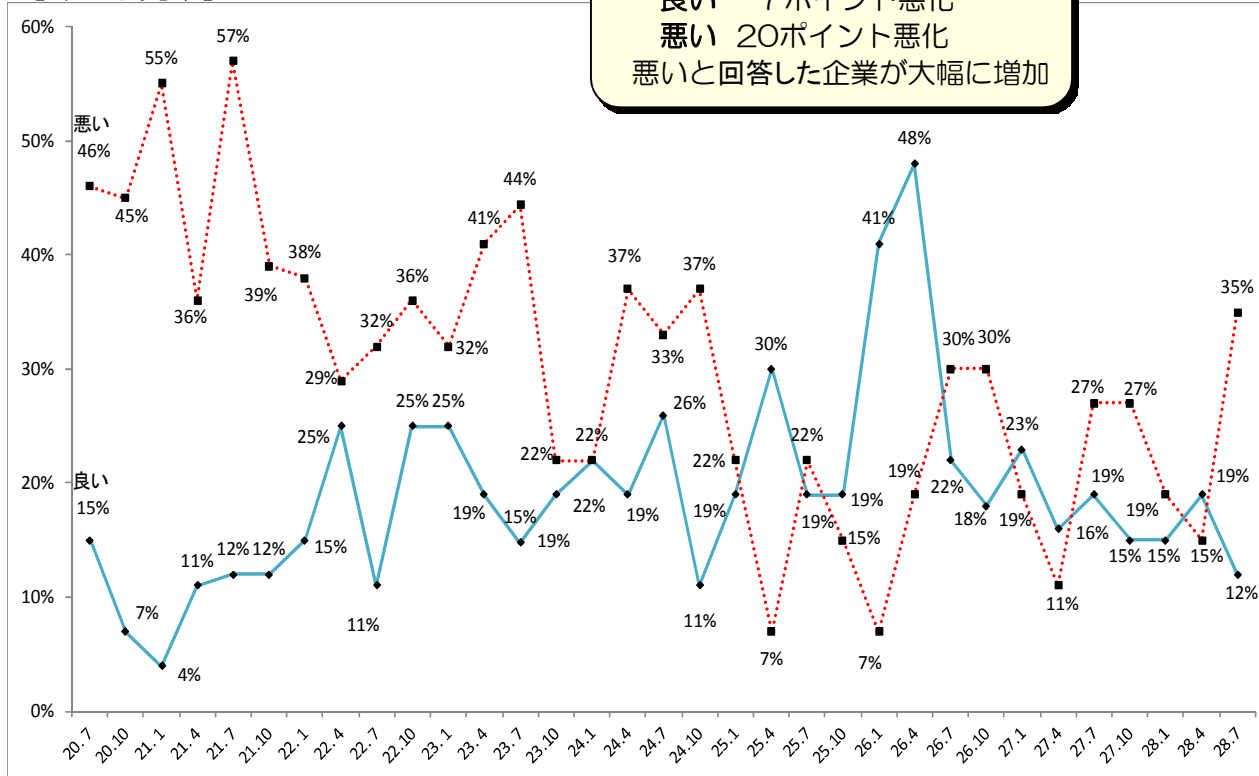


【製造業】



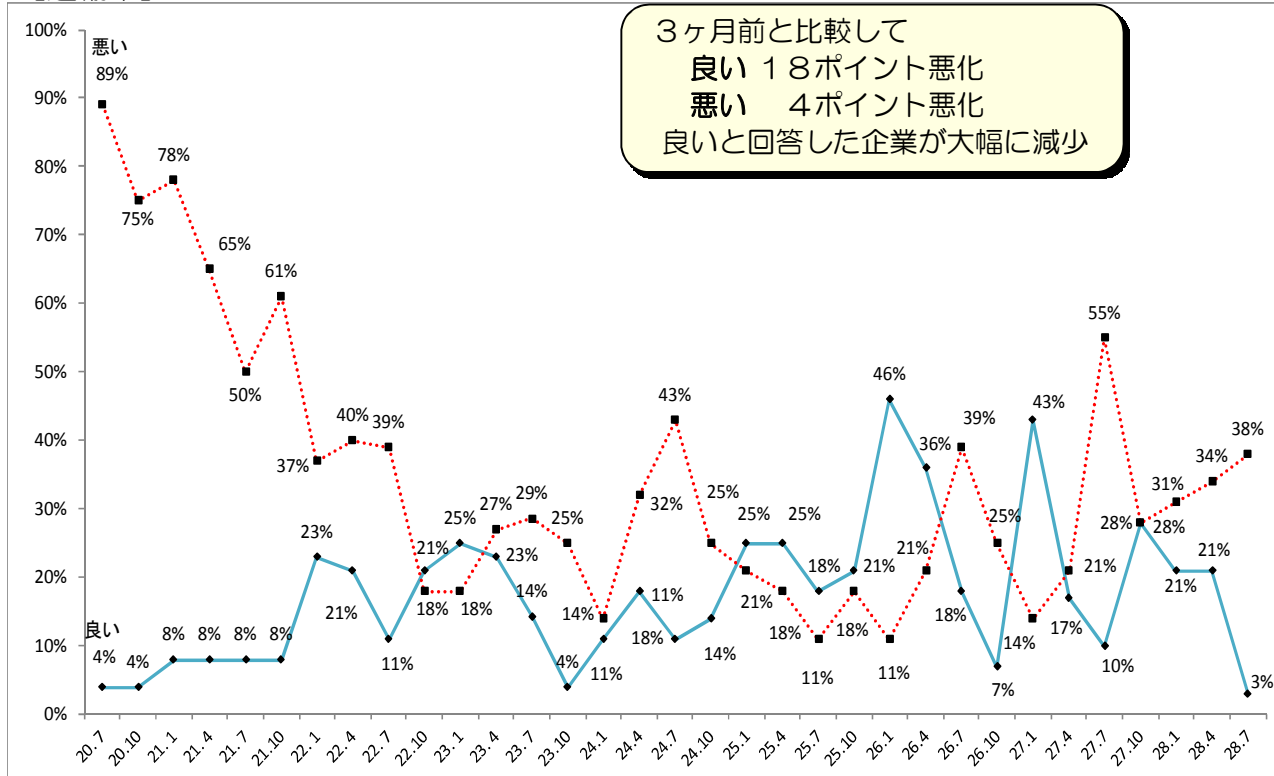
【卸・小売業】

3ヶ月前と比較して
 良い 7ポイント悪化
 悪い 20ポイント悪化
 悪いと回答した企業が大幅に増加



【運輸業】

3ヶ月前と比較して
 良い 18ポイント悪化
 悪い 4ポイント悪化
 良いと回答した企業が大幅に減少



Ⅱ 今後の業況

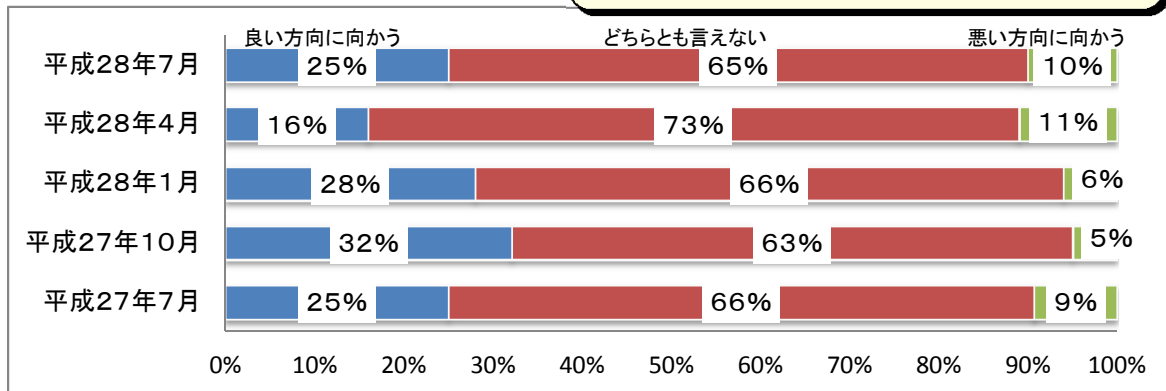
今後3ヶ月後の業況の見通し

3ヶ月前と比較して

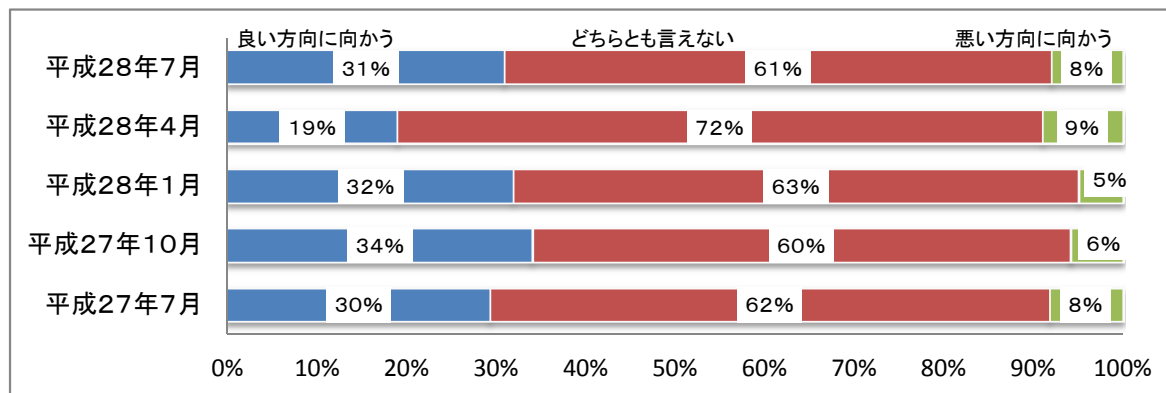
良い方向に向かう 9ポイント改善

悪い方向に向かう 1ポイント改善

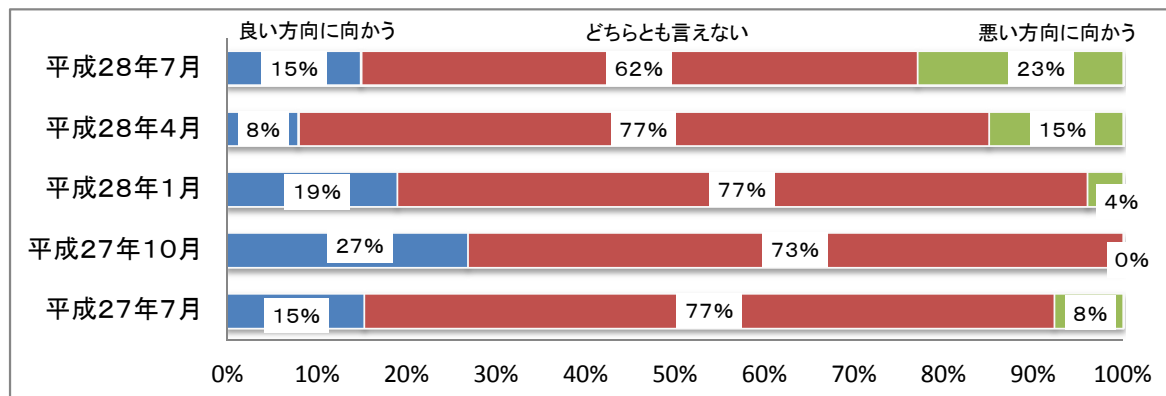
全産業



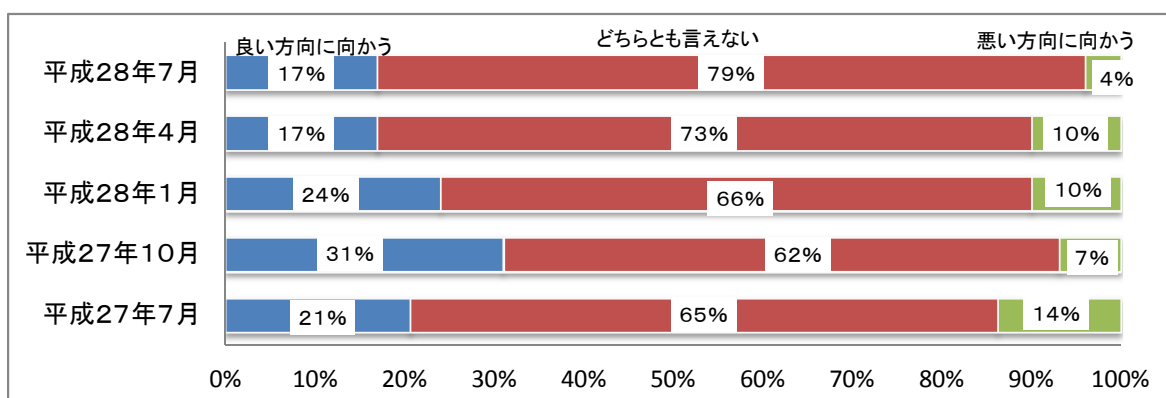
製造業



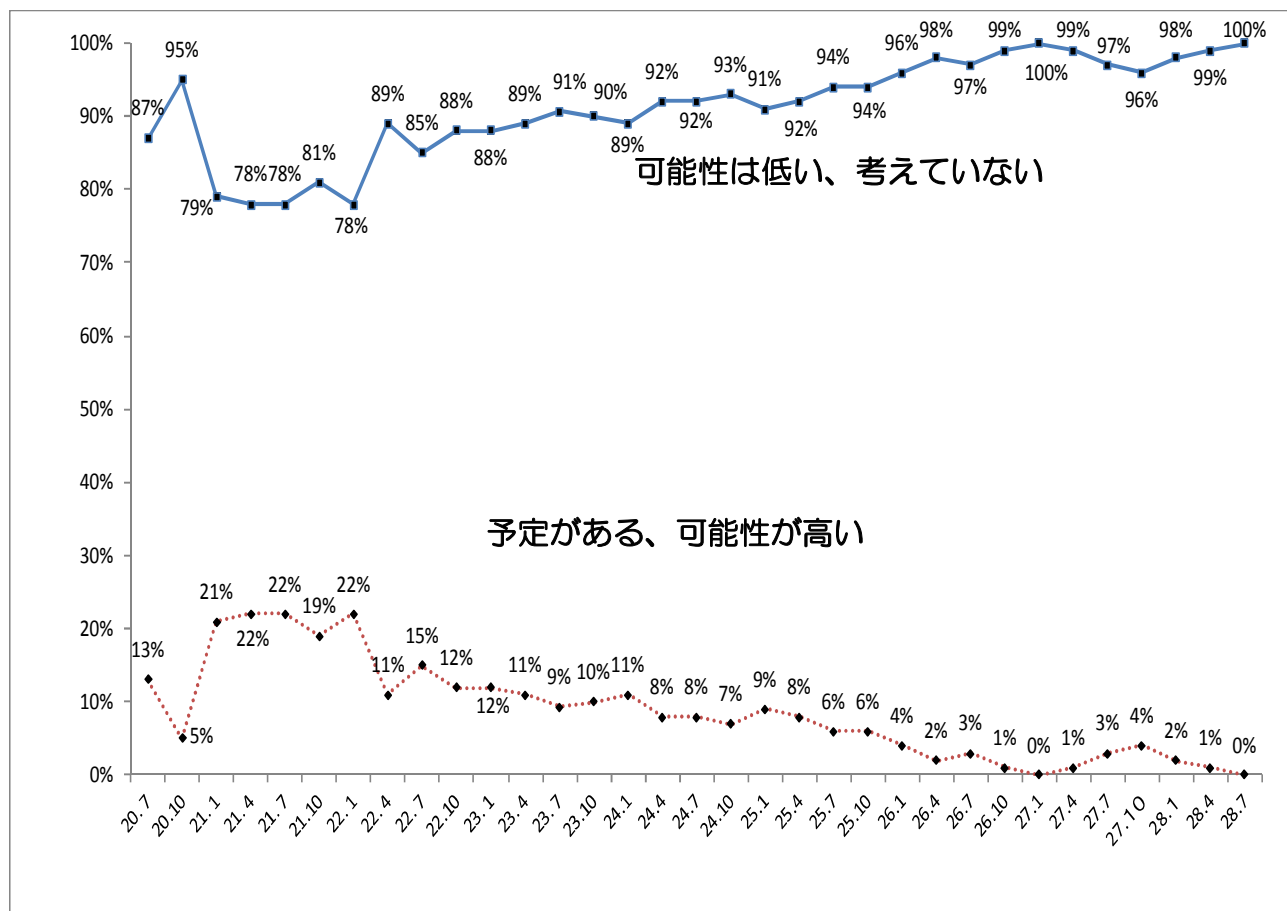
卸・小売業



運輸業

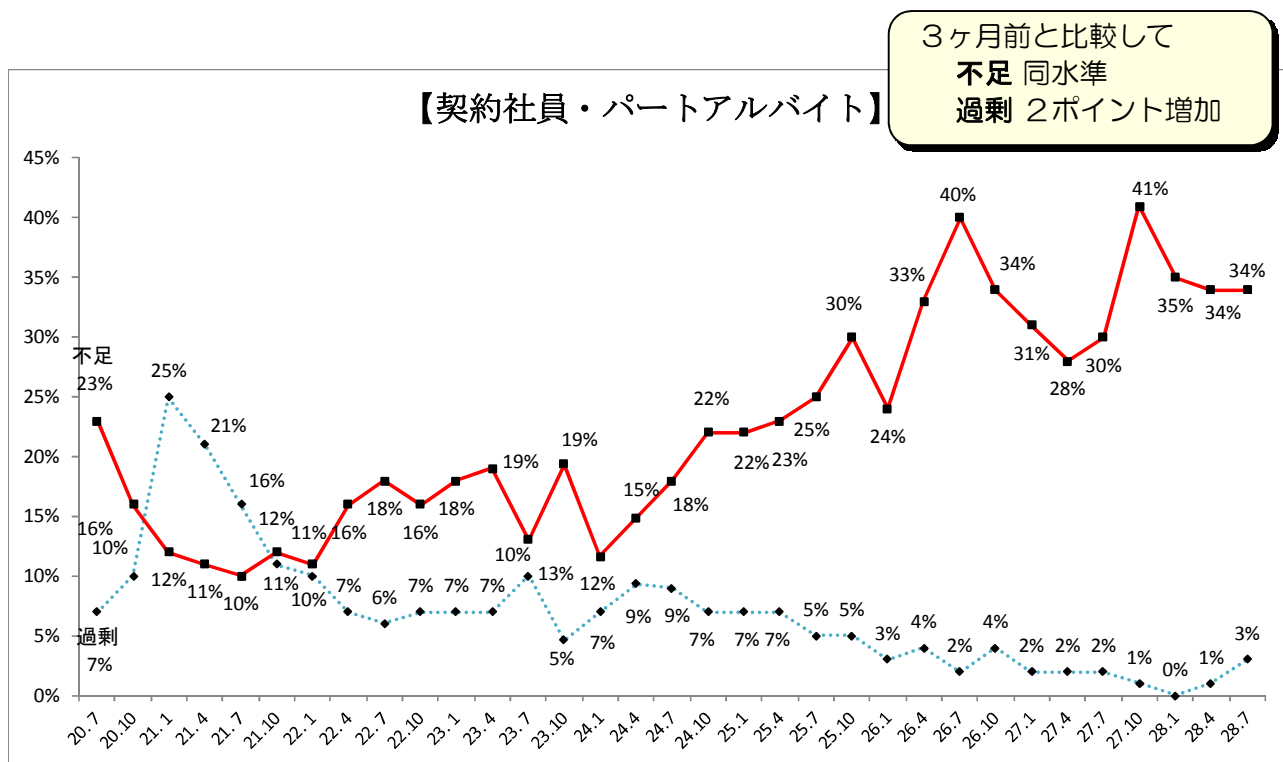
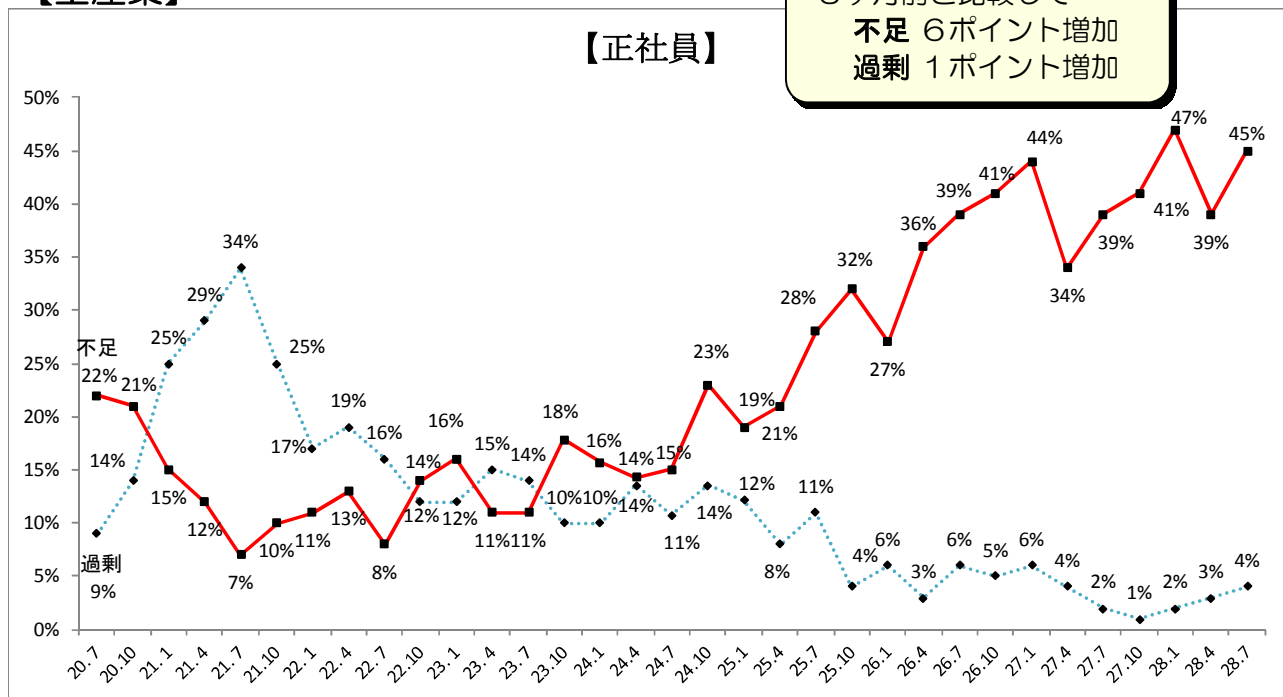


Ⅲ 今後の雇用調整について



- 「今後の雇用調整について、予定がある、可能性が高い」企業が6期ぶりに0%に改善（0/140社） リーマン直後の「今後の雇用調整について、予定がある、可能性が高い」企業22%（31/140社）が0%となった。

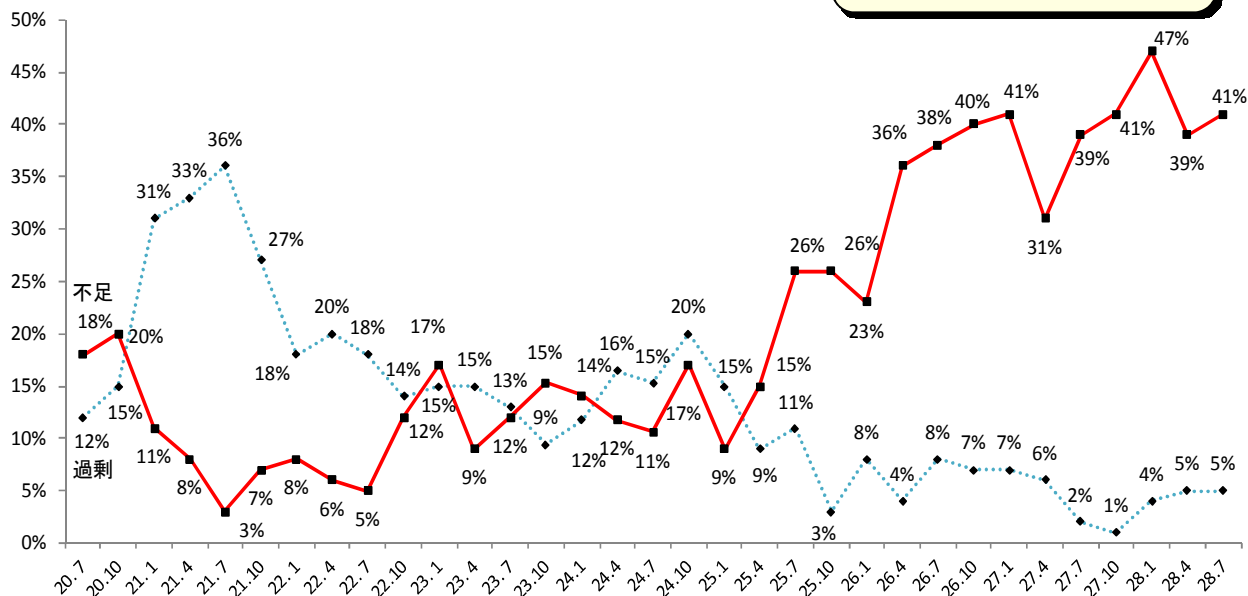
Ⅳ 現在の雇用過不足感について 【全産業】



【製造業】

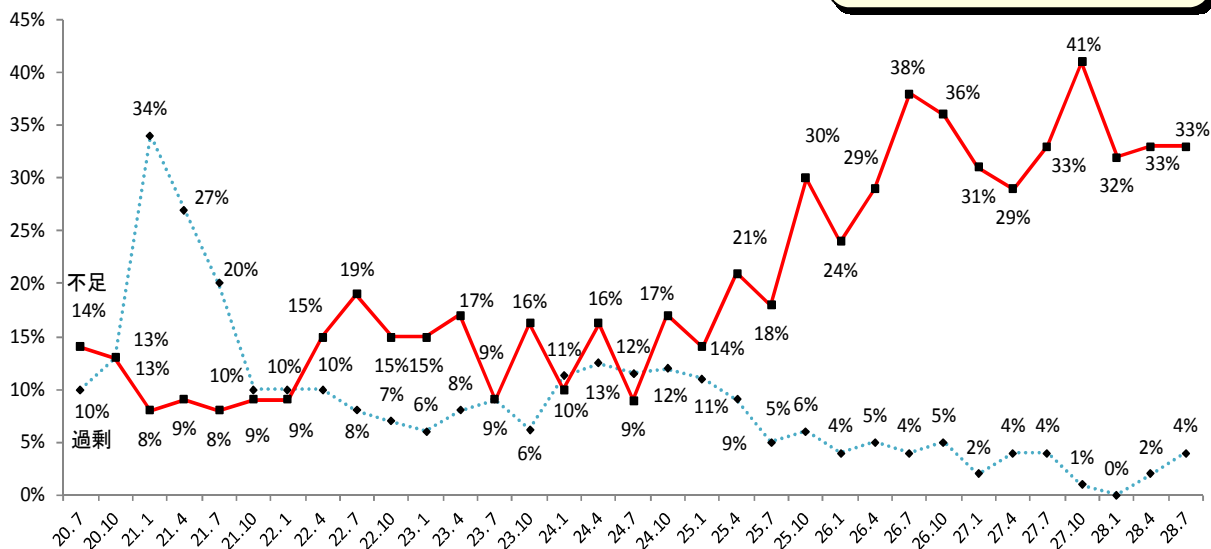
【正社員】

3ヶ月前と比較して
不足 2ポイント増加
過剰 同水準



【契約社員・パートアルバイト】

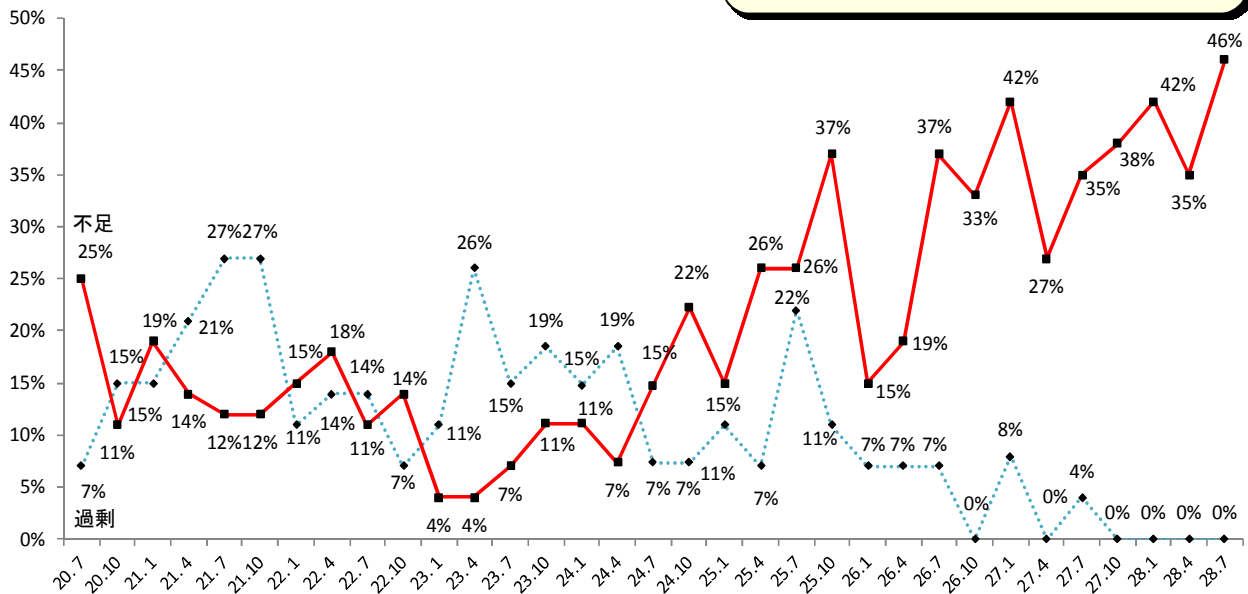
3ヶ月前と比較して
不足 同水準
過剰 2ポイント増加



【卸・小売業】

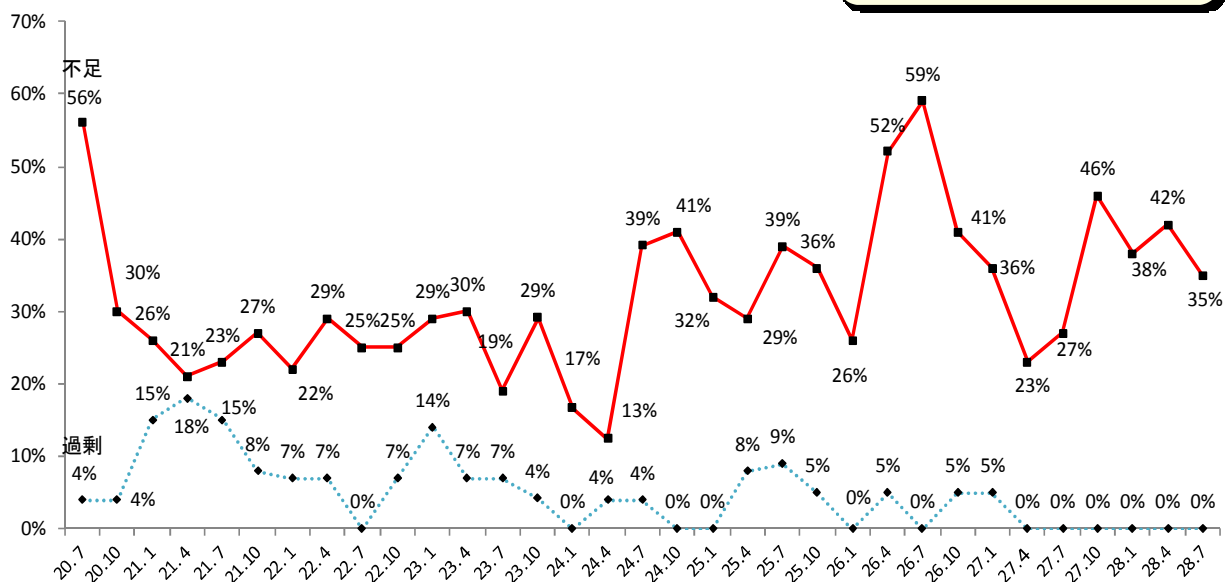
【正社員】

3ヶ月前と比較して
不足 11ポイント増加
過剰 同水準
正社員の不足感が調査開始以降最高



【契約社員・パートアルバイト】

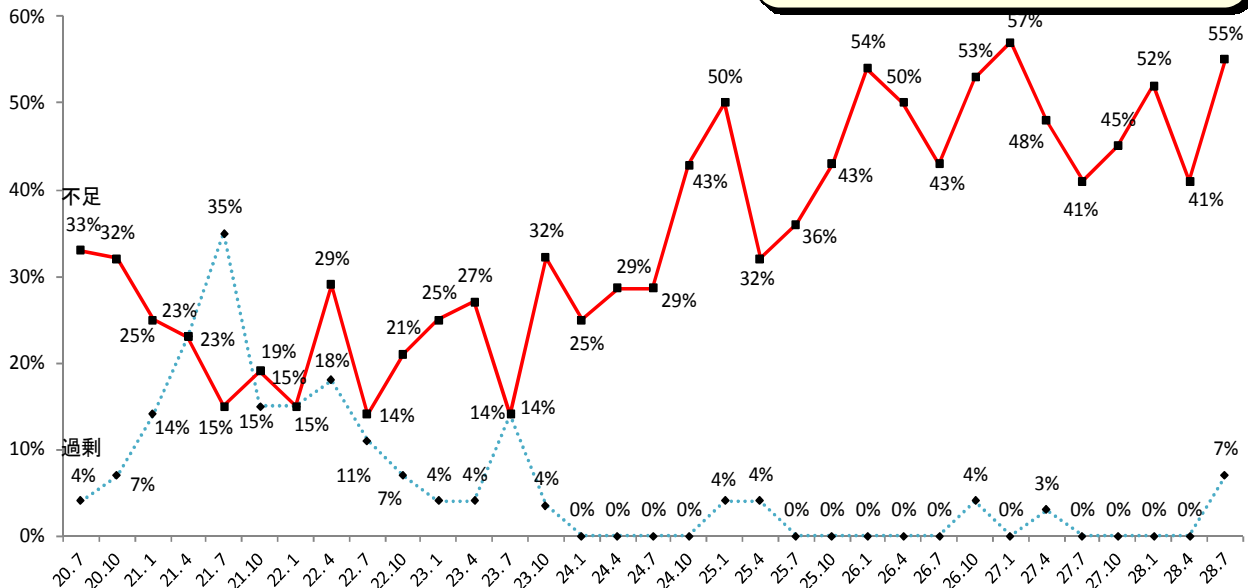
3ヶ月前と比較して
不足 7ポイント減少
過剰 同水準



【運輸業】

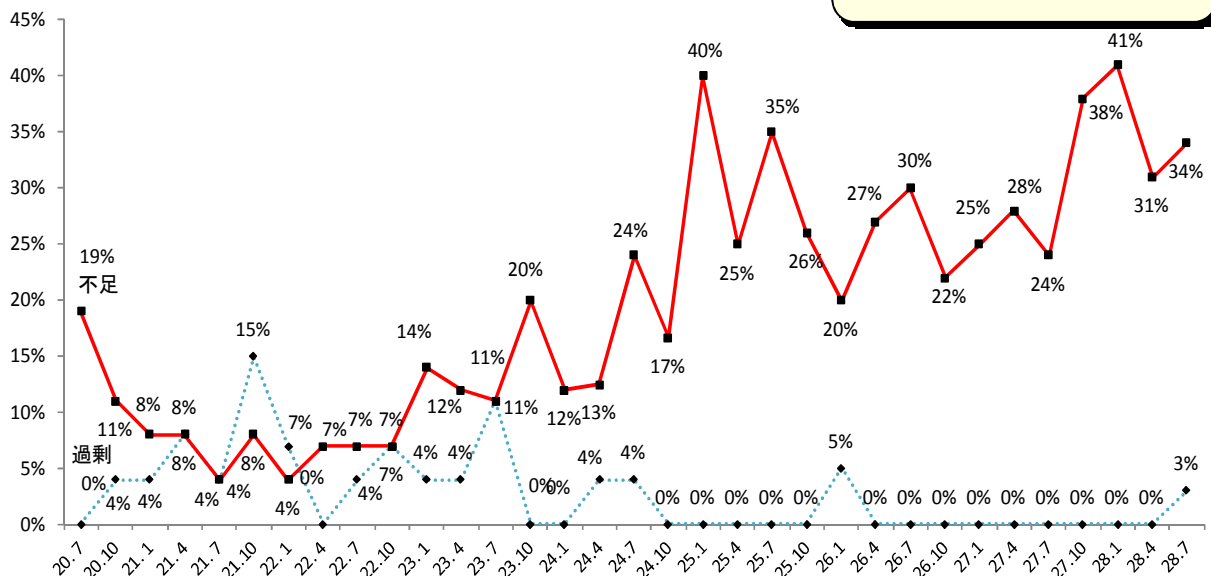
【正社員】

3ヶ月前と比較して
不足 14ポイント増加
過剰 7ポイント増加
正社員の不足感が大幅に増加



【契約社員・パートアルバイト】

3ヶ月前と比較して
不足 3ポイント増加
過剰 3ポイント増加

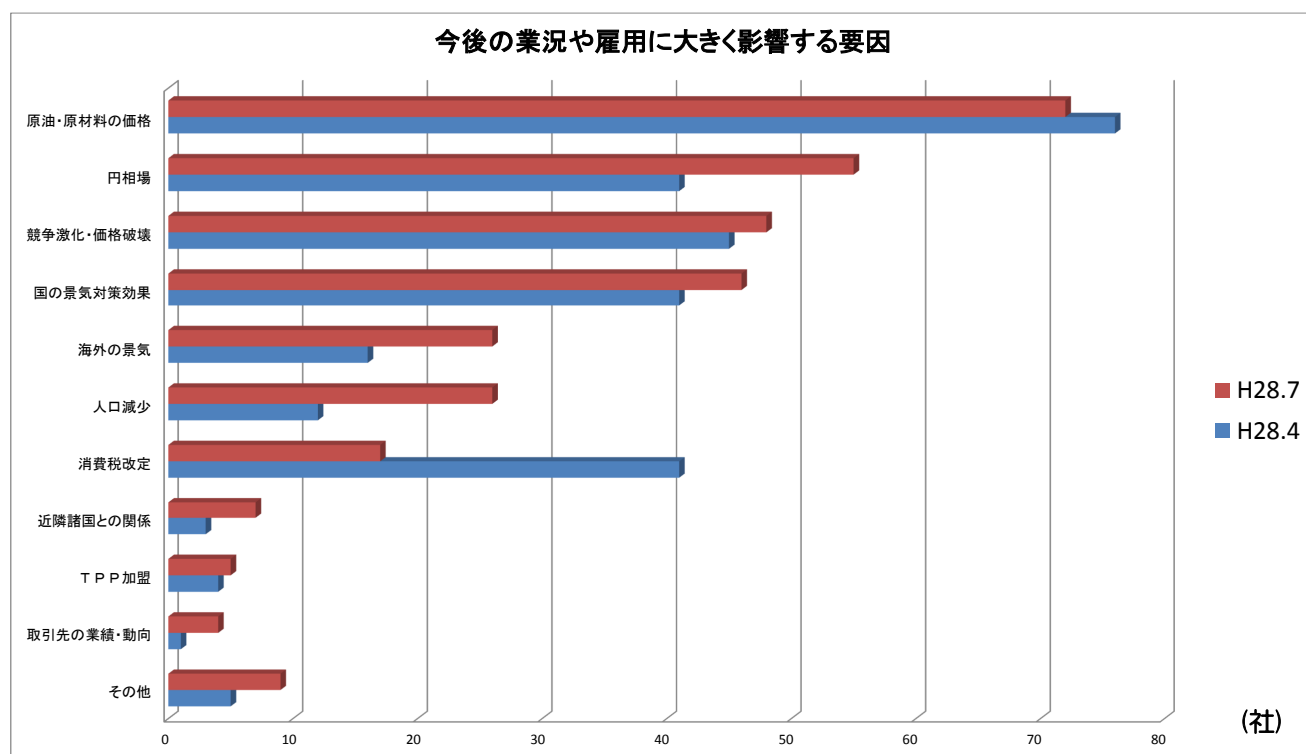


V 今後の業況や雇用に大きく影響する要因について（平成28年7月）

(社)

今後の業況や雇用に大きく影響する要因は（複数回答あり）		全産業		製造業		卸・小売業		運輸業	
1	原油・原材料の価格	72	(76)	42	(43)	12	(11)	18	(22)
2	円相場	55	(41)	38	(31)	10	(8)	7	(2)
3	競争激化・価格破壊	48	(45)	29	(28)	13	(12)	6	(5)
4	国の景気対策効果	46	(41)	24	(24)	7	(5)	15	(12)
5	海外の景気	26	(16)	22	(14)	1	0	3	(2)
5	人口減少	26	(12)	18	(7)	5	(2)	3	(3)
7	消費税改定	17	(41)	6	(21)	6	(11)	5	(9)
8	近隣諸国との関係	7	(3)	6	(2)	0	(0)	1	(1)
9	T P P加盟	5	(4)	3	(3)	1	(1)	1	(0)
10	取引先の業績・動向	4	(1)	3	(1)	0	(0)	1	(0)
	その他	9	(5)	6	(2)	2	(1)	1	(2)

※（ ）内は平成28年4月期の数値

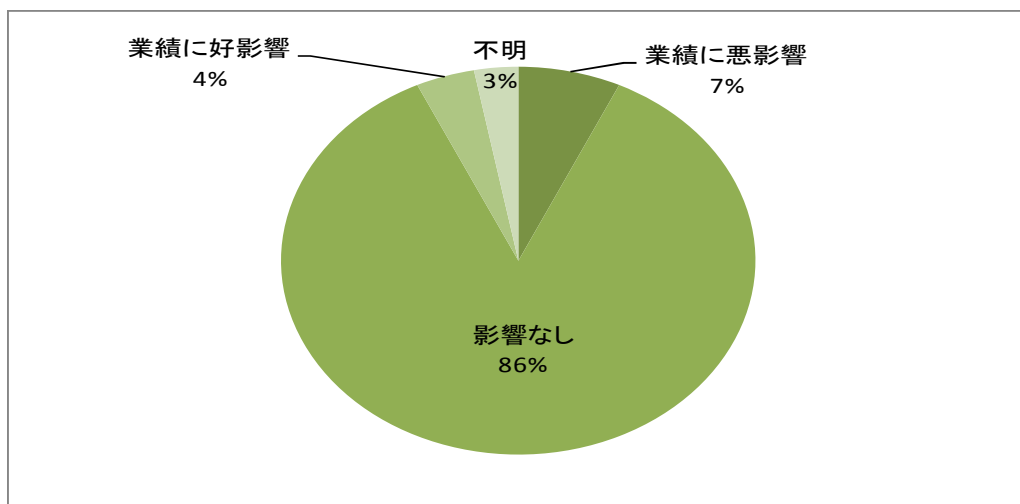


《その他の要因》

- ・ 天候
 - ・ 家畜の伝染病
 - ・ 取扱商品の流行度合い
 - ・ 専業農家の減少度合い
 - ・ 新規事業の動向
- など

Ⅵ 熊本地震の影響について

【今回調査】

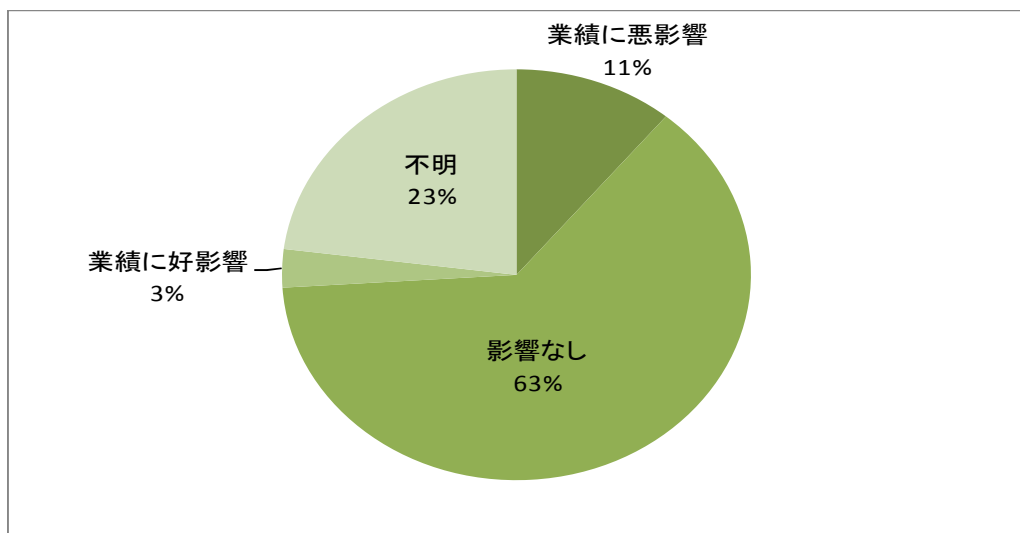


《企業からの声》

- 海外から九州へのツアー客が激減した（一方で北海道が例年より増加）。
- 地震発生直後は廃棄物を入れるコンテナの輸送で忙しかったが、今は落ち着きつつある。
- 義援物資の関係でミネラルウォーターが熊本に集中したため商品不足の影響がでたが、現在は解消されている。
- 復興優先で人手不足の影響が出ている。

Ⅶ 英国のEU脱退による業績への影響について

【今回調査】



《企業からの声》

- リーマンショック同様に設備投資が鈍ることを懸念。
- 先行きに情勢不安があると輸入に対して慎重になり、輸出も増加しない。
- 今年度から東南アジアに新工場をオープンしており、これまでみられなかった影響があるかも。
- これまで円安で増加していた外国人観光客が、円高や情勢不安により減少することを懸念。